



海の便り



5月26日盛大に催された第21回エリカカップヨットレース前夜祭

会報目次

- CHAPTER1 ラグーナカップ(MCC5月レース)
CHAPTER2 第21回エリカカップヨットレース

行事予定

- 6月17日 MCCカップ(早朝レース)
6月17日 JASF伊勢湾合同レース
6月24日 スモールクルーザーレース
7月14・15日 MCC三河湾周航レース(ナイト)
7月22日 スモールクルーザーレース
7月27~29日 鳥羽パールレース
7月29日 蒲郡花火大会観賞

MCC 5月合同レース(ラグーナカップ)

今回の5月の合同レースは「ラグーナ蒲郡」開設5周年と言うことで「ラグーナカップ」と言う冠がついたレースになりました。「ひとマリーナ」にはMCCの所属艇でスーパーウェーブ、アリエス、セレスティーヌ と言ったMCCのレースでもお馴染みのヨットがいます。

今回のラグーナカップも本来なら3艇がそれぞれエントリーしても良かったのですが、セレスティーヌは艇を売って現在速いレーサーを物色中で(どうも凄いレース艇と交渉中とか?)ヨットが無く、アリエスはアリエスで牧野オーナーは一昨年から2艇のオーナーになり(「アリエス」= エスプリデュパン 30& 「ありえす」= エリオット 7.5m)今回も「ありえす」で参加をされていて参加料も払って意気揚々と20日のレースを楽しみにしていたのが、何と当日は風速30ノットを越える強風が吹き荒れる大荒れの海面で、「ありえす」での出艇をあきらめ、スーパーウェーブに急遽乗り込むことになりました。

強風のラグーナカップと言うことで、この日のスーパーウェーブのメンバーは「スーパーウェーブ」から3人、「セレスティーヌ」から2人、「ありえす」から4人、「ララ」から1人、「カレラ」から1人の計11名の豪華スタッフと「ひとマリーナ」のオールスター?(オールドスター?)代表と言うような顔ぶれでの参加でした。メインセールは今年新調したダクロンのセール(もちろんワンポイント)にし、ジブセールはややくたびれて、いつ破れるかもおかしくないINO.3ジブでレース海面に到着。

今日は31艇の参加と聞いていたがスタート時点ではさすがにこの海面では小型艇はあきらめたのか20艇くらいしかスタート海面には来ていない。その中で「24グループ」が元気に帆走している。そんな海面だからかスタート時間を遅らすAP旗が本部船に掲揚。僕もいつもレース運営に携わっているから、こんな海況でのレース運営に頭が下がります。

レースがスタートし風は弱くなるどころか益々強くなっているように感じられる。でも我がスーパーウェーブは大関クラスの「牧野氏(ありえす)」をはじめとする関脇クラスの「山本氏(ララ)」を含む11名乗艇で何とかヒールを押さえながら上マークを目指す。上マークを回航し下マークへ向うが、こんな風の中スピニアップなど考えもしなかったが、先行艇の「ガスト」などは余裕でスピニアップでかっ飛ばして行く。

上マークと一緒に回航した「シンジャン・R」もスピニアップで我々を追い抜いて行き、一瞬スピンが頭をよぎるが今日は我慢して安全航行で行くことにする。(次の日曜日がエリカカップだからここでのトラブルは避けたかった)その後も風がやや収まり気味に思えたりしたが、時折強烈なブローも相変わらず吹いて、とにかくミスのない走りに徹する。

結果は着順9位で修正順位も9位でしたが、混成チームでの安全第一を考えて十分な走りでしたし、11名乗艇の結果で無事完走できたことに満足しています。

さらに、MCC順位でトップというラッキーな結果となり大いに楽しんだラグーナカップでありました。

ハイレベルなMCCのレースでトップを取るなんて十何年ぶりでしょうか?しかしヨットレースは楽しい!!!



最後にこんな強風下でのレース運営をしていただいたスタッフの方々にお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

スーパーウェーブ・ 長坂

5月MCC合同レース(第1回ラゲーナカップ)成績

着順	着順船名	TSF	TMF (A)	到着時刻	所要時間 (B)	修正時間 (A*B)	修正順位	得点
1	スーパーウェーブ	645	0.9302326	11:47:45	5565	5177	1	20.25
3	ベベ	700	0.8571429	11:57:06	6126	5251	2	19
2	マーメイド プリンセス 5	645	0.9302326	11:53:28	5908	5496	3	18
4	Kagetora	700	0.8571429	12:16:04	7264	6226	4	17
7	アルミス 5	625	0.96	DNF	DNF	DNF	DNF	10
5	ルートリス	645	0.9302326	DNF	DNF	DNF	DNF	10
6	ウラナミ 9	645	0.9302326	DNC	DNC	DNC	DNC	8

第21回エリカカップヨットレース



5月27日 オープンクラス99艇がスタート

爽やかな順風の中 IRC 19艇 Open 99艇が参加して、三河湾最大のヨットのイベント第21回エリカカップヨットレースが盛大に開催されました。MCCの各艇は上位入賞いたしました。

エリカカップMCC艇の成績(各クラス上位)

【Bクラス】3位 スーパーウェーブ 【Dクラス】2位 オデッセイ、3位 マーメイド・プリンセス
 【Eクラス】3位 ガメラ 【Cクラス】2位 景虎 【Jクラス】1位 ホープ、2位 アヤ

2007年エリカカップ

ホープ 南原

エリカカップは昨年クラス2位と不本意に終わっていたので、今年はまずクラス優勝することを目指してセールも一新し臨みました。しかし、レース前に思わぬ事件が発生。なんと北河さんが腰を痛めて乗れなくなってしまいました。その結果メンバー2人に助っ人3人の5人で出場+陸上の北河さんからの電話の嵐という体制となりました。

当日は、西方向でやや振れのある風で、コースは大島南東のウエザーマーク・竹島マークを經由してフィニッシュのコース。今年は新コースが設定されており、クローズ方向にスタートを切るなどコミッティの苦心のあとがみられました。

まずスタートでは毎年大きな艇に絡まれないようにエンド狙いですが、今年はアウターエンドからほぼぴったりのスタートでした。しかし、上側にいた朝鳥がすぐに飛び出してホープはブランケット入れられてしまい、やはり我慢する展開に。後日談ですが、このいきさつがJ S A F 外洋東海のHP写真集にバッチリ載っています。

さて、レースのほうはウエザーに向かっている最中に、風が弱くなり風向もわからない状態となりました。そうすると自艇だけスピードが無く他の艇に抜かされてしまっているように思えてきて、どんどんイライラが募っていきました。そしてやっとのことでマークにたどり着くと、オーバーラップのない艇からルームを要求されたため、さらにイライラ。ここは全く譲らず相手をマークにぶつけて気晴らしをしてしまいました。

(ハイテンションさん、ごめんなさい。でも、ルールは勉強しといてね。)

こうして何とかウエザーを回ると、前方にアヤが見えたので、まずはここに追いつくことに目標を定めました。風はまだ弱く不安定な中でしたが、追いかけるほうが気楽なこともあり、冷静になって操船し、自分たちよりも大きな船も置き去りにして順調に進みだしました。しばらくアヤとの差は変わらないままでしたが、その後西からブローが入ってきた時には艇団の西側に位置していたため、早くにブローを取ることができました(竹島に近い先行艇が西風で帆走しているのを見ていました)。また他艇の影響も受けなかったことで、全体に対して大きくリードできました。そして、この後さらに風速が上がってくると、5人乗っていたホープがアヤを徐々に追い上げ、竹島マークまでには前に出ることができました。

その後は、スピンで快走しフィニッシュ。ここ2年の無風1本コースとは違い、位置取り・コース取りの戦略や、マーク間際の戦術など充実した内容に満足感がありました。

成績もJクラス優勝ということで、乗れなかった北河さんにもいい報告ができました。

来年もまたクラス優勝が目標です。ついでに、いつかは総合3位以内に入りたいです。



エリカカップ Jクラス 2位入賞

あや 石原

三谷漁港へ8時に集合し、艀装後レース海面へむかう。アヤに乗艇するのは久しぶりであり、ハリヤード類がピンとこないし、まごついてしまう。スタート時には余裕もあり、レース海面まではタック、ジャイブの練習をしながら艇をすすめた。

久しぶりに三河湾がセールでいっぱいだ、いつ見てもすばらしい情景である。スタート時間が近づいてくる、いつもながら興奮が高まってくる。上空には取材ヘリが飛んでいる。スタートは小型艇にとっては特にフレッシュが欲しいし、大型艇の下は避けたい。風上側からグットなスタートができた。勝負相手のホープはどこだ、確認できない。渥美マークまでは風上海面をキープしつつ順調な走りである。しかしながら風はよく振れるし、渥美マーク手前で風速もおち、風向も定まらず艇速がいきにおちてしまった。しかしながら、すぐ横ではよくすべっている艇もある。ヨットレースのおもしろいところであるが、今日はまったくおもしろくない。渥美マークは宿敵ホープを押さえて回航するが、竹島マークまでのレグでまたも風速がおち、とまってしまった、後ろ海面は風があるようでホープが一気に迫ってくる。15分遅れスタートのレース艇軍団が次々と走り去っていく。さすがに速い。竹島マークでは残念ながらホープに先行されてしまった。天気予報どおり北西の風が強まってきた、スピンをセットするがホープを捕まえるのは難しい、無理せず観音開きでフィニッシュに向かう。今日はニューウセールと若さのホープに完敗、アヤは年寄り3人と若く強力な女性クルー1人でよく頑張りました。いや、中村艇長は相変わらず元気です。結果、Jクラス2位に入賞できたし、レースの醍醐味も満喫し、楽しい一日でした。



景虎エリカカップ | Class 準優勝

昨年8月の進水以来、やっと入賞する事が出来ましたV クラスI(11艇中2位)で準優勝でした！
(BBQセットをゲット)

手嶋さん、石川さん、村田さん、山岡さん、辻本さん お疲れさまでした！！

スタートは本部船寄りを狙い、5分前に本部から海洋学園に向けて走っていたが逆走する船が多く、やっと水を探してジャイブ出来たのが3分前、風があればジャストスタートのタイミングであったが、本部船寄りは、船がごった返しており、上の船に風を取られ、走らず、上らずで下スタートブイ迄流され最悪スタートとなった。

スター後、スターボードタックを伸ばしたがオーバーセールでタックした時には第一マークはかなり風下に・・・と、その時 先行する艇団は第一マークよりかなり落として走っている。下に別のマークがあるのかと思うほどだ。先行する集団に簡単に追いついてやっと理由が分かった。風が60度程南に振れていたのだ。(気付くのが遅い、、、！)

第一マークのロープに Sun Odeysse32 が引っかかっている。周りにいる船はクラスJのロウレーティングの船ばかりの状態にカームに捕まる。カーム脱出後の走りが良く竹島マーク回航までにかなり追い上げる事が出来た。スタートの失敗と風の振れ読み遅れミスが無かったら確実に優賞出来たのにな～(ねば、たら、の贅沢な発言ですが、、、)

ラグーナフェスティバルマーケットの凱旋回航では司会者から素敵なユニフォームだと褒められ、昨日の前夜祭でサンオデッセイ32とワインを賭けたがこれもゲット！

これも嬉しかった！(なんと第一マークに引っ掛かっていた「Ciudecca」で昨夜、大島委員長が景虎に連れてきた。)

久方振りに楽しいレースでした！！

前夜祭から遊んで頂きました「チェスナット」の皆さん、応援頂いた「はまゆう」市川さん、牧さん夫妻、堀池さん、曾根さん、「ミストラル」木村さん、本山さん、高山さん、白衣さん、「コーラルリーフ」乗船の岸本さんもしっかりフィニッシュの動画迄撮って頂き本当に有難う御座いました！他にも沢山の方に応援頂き感謝！感謝！です。



< P S > 景虎のブログも時々覗いて下さい！

http://blog.goo.ne.jp/n_kagetora

ガメラ3 エリカカップ3位の巻

ガメラ3 田中

みなさん、お久しぶりです。ガメラ3の田中です。MCCに記事を書くのはずいぶん久しぶりです。記事のネタがあるということはガメラの活動が再び活発になりつつあるということです。

昨年は、私は仕事の都合で参加できず、一昨年はエンジンが壊れてしまい修理が間に合わなかったため参加できず、私にとって今年は3年ぶりのエリカカップ参加となりました。この3年間、エンジンのセルモーターとはずみ車の交換、ハルにできたオズモシスの補修といった大修理があると同時にメンバーの身边にも大きな変化がありました。古参メンバー、かつ重要メンバーの小川英樹君が一昨年、マレーシア人のメイキンさんと結婚しました。メイキンさんは小川君のホームページにアクセスしてきて交際が始まり、海を隔てた数年の遠距離恋愛の後、二人は愛を成就しました。

ちなみに私は昨年41歳にてようやく結婚しました。彼女とは私の通っているギター教室で知り合いました。彼女が教室に現れる時間に偶然を装って毎週通いつめ、メールアドレスを聞き出したのが一昨年の12月のことです。初めてのデートは蒲郡でした。竹島を散策した後、係留しているガメラに連れて行って、船を見せた後、ラグーナのイタリアレストランに連れて行きました。長年蒲郡でヨットをやってきたことがはじめて役に立ちました。嫁にはガメラは私の連れ子と思って可愛がってくれといっています。残念ながら継母と連れ子はあまり折り合いが良くなく今回は嫁はレースに来てくれませんでした。ガメラは連れ子と思うのではなく、愛人と思い、密会するのが良いのかもしれませんが。

今年の参加メンバーを紹介します。ヘルムは田中、メインが鈴木、ジブが横山、福沢、バウが小川というガメラ黄金メンバーに加え、三谷漁港でマイルディを所有している早川さん、ガメラの相談役棚橋先生、それと私の職場の同僚でオーストラリアから来たクライブ、最後に横山ジュニアの小学3年生の“たっくん”のあわせて8.5人（“たっくん”は0.5人と勘定。）です。

北東の風でコースはトライアングルの時計回りとなりました。スタートはかなりの下有利でしたが、オープンクラスの多くの船は本船側に集まっていました。我々は船の走り出しが遅いことを考えて艇団の下でできるだけフレッシュウインドを受ける位置からスタートすることにしました。下有利なためラインに近づかないとスタートできないので1分前を切ってもベアして回りなおしてラインの近くに近づきました。タイミングはほぼジャストスタートでした。風にかなり強弱が合ったのでとにかく失速しないように注意してヘルムをとりました。第一マークを回航後、風が急に落ちました。だけど、前方を帆走している船は大きくヒールしています。ここは我慢して走り続けブローに入るのを待ちました。ようやくブローに入ると、それはまさしくガメラ風、15ノット程度でNo.1ジェノアとフルメインで船は快走します。こんなときは、ジェノアに裏風が少々入っても失速せずに風上に乗っていきます。

第2マーク、サイドマークを通過した後は真追っ手のフリーでした。ブローの強弱がある中、はじめは福澤さん、その次に小川君にスピントリムを頑張ってもらい、先行艇に少しばかり近づけたと思います。ジャイブするとき、ちょうどブローが入ってしまい、スピンがちょうちんになるなどトラブルもありますが、メンバーが各自の動作を体で覚えていたのかどうか対応でき、ジャイブのあとはそのままゴールまで突っ走りました。同じクラスの4位のクンテルとはなんと1秒差の3位でした。フィニッシュ直前、クンテルはガメラの風上を帆走していたのですが、フィニッシュラインが風下のリミットよりになっており、ガメラのほうがラインに近かったため僅差で我々が早くゴールしました。久々の表彰台もうれしかったのですが、それ以上に風に恵まれ楽しいレースできたのが何よりでした。……ガメラ復活の日は近い。





Mermaid Princess V

Entry D : class

21st 2007
ERIKACUP
YACHT RACE

MP H.Koni

今年も 5 月 26 日・27 日エリカカップが開催され、チームマーメイドは前夜祭から参加しました。レースもさることながら、普段交流の無い方々と美味しいお酒を沢山いただく事が何より楽しいお祭りです。今年の前夜祭には懐かしの 50 年代サウンドが響き渡り大いに盛り上がりました。その後もヨットで宴会、色々な経験談や有難いお説教を聞きながら、鳥居氏が中村会長から頂いたお土産の焼酎は空になっていました。明日は楽しいレースです。
(MP は飲酒運転撲滅運動中！)



明けてレース当日 6 時半には起床、思ったほど焼酎は残っていない。顔を洗って天候をチェック、今年はコンディションも良く、楽しいレースになりそうです。

8 時 40 分レース海面へ、ラグーナ沖には既に多くのヨットが風をはらんでヒールしている。今年 MP は D クラスに参加、同クラスには Uranami9・Odyssey・Merrysun・Lutris・Eldrado2 がエントリーしている。

9 時 45 分一発スタート、リコールは無し、先行は数艇となかなかの位置につける。

あれッ？ 観覧艇が居ないじゃん... 寂しいスタート... 頑張って行きましょう！！

タックして高さ調整、Danryu のラインで第一マークへ。快走々、西からの風にそのまま高順位で回航と思った矢先... 取材で飛来した「ヘリ」による乱気流で自艇を含む数艇がマーク手前で失速、抑えていた数艇にほんの数メートル横をあっさりと抜かれ悔しい回航となった。それでも先行艇は少ない、まだまだいい位置をキープしている。



回航後もダンゴ状態の数艇はもたもた...

混乱を抜け起死回生のスピニングを試みたが上ブレでうまくいかない。悪戦苦闘していると大島横を Odyssey がアビームで快走している...羨ましい...

程なく大島ブランケから脱し良風をはらんだ。

この頃立ち始めた白波に乗って竹島マークを回航、近くの観覧艇に手を振る余裕も無くスピニングアップ。先行は 10 艇程度にまで挽回しているようだ。クラス優勝が頭に浮かぶ...

フィニッシュ向けにジャイブのタイミングだが他艇に阻まれ間々ならない。並走の Odyssey ジャイブ！ ?? ちょっと手間取っている様子。(ウフッ)

他艇をかわし「ジャイブ！」の指示！
しか～し！意気込み過ぎて痛恨のジャイブミス！！
「何やってんだ～！」Ondeck に罵声が飛交う！！
(バチが当たったのね??)

Odyssey に微妙な差がついてしまった...

結局その差を取り戻せずタッチの差でフィニッシュ、今年のエリカはトラブル&悔しいレースでした。

しかしながら着順はなかなかいい感じ？ 結果を期待し帰港する。

(バチが当たったのね??)

Odyssey に微妙な差がついてしまった...

結局その差を取り戻せずタッチの差でフィニッシュ、今年のエリカはトラブル&悔しいレースでした。

しかしながら着順はなかなかいい感じ？ 結果を期待し帰港する。



帰着申告を済ませ海陽に帰港、片付けを済ませ表彰式に参加。今年はお食事券による食料配布形式に変わり、芝生の上で落ち着いて昼食を楽しむ。



それにしても参加者の多いこと、普段どこに居るのか？ニギヤカな表彰式となった。

各クラスの表彰が進む、Dクラス結果はOdysseyが2位、MP3位とMCCの面目を保つ結果となった。



優勝艇はどこにいたのか？早かったのね。
そんなこんなで今年のエリカが終わりました。
来年こそはクラス優勝目指して頑張ります。

【Bクラス】3位 スーパーウエーブ



【Dクラス】2位 オデッセイ



【会報編集部から】

クルージングで港に行ってお見つけた、安くて美味しかった食堂、美人の看板娘のいるお店、お風呂、旅館などの記事を写真つきで送ってください。会報の発行が遅れて申し訳ありませんでした。

【MCCの皆様へ】

MCCの6月レースからコース変更があります。MCCのホームページをご確認ください。
ホーネットのクルージングが再び始まり、中村さん、田中さんは佐世保から沖縄へ向かって航海しています。6月11日現在、良い温泉に是非入浴したいと口永良部島にいるそうです。